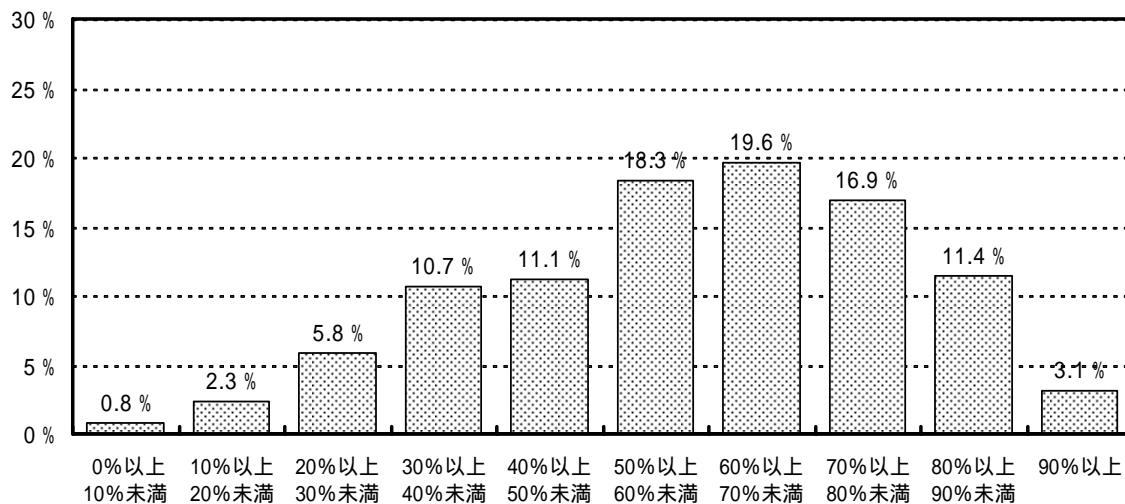


社 会

1 調査結果の概要

受検者数(人)	平均通過率(%)	標準偏差
17,326	58.4	19.7

【通過設問率の度数割合のグラフ】



【本年度調査問題のポイント】

昨年度の調査では、社会的事象を資料と関連付けて考えたり、資料やグラフを活用し、読み取ったりすることについては、おおむね良好という結果を得ている。しかし、社会的事象の意味や働きを考えたり、基礎的な知識や概念の理解とそれを活用したりすることが課題であることが分かった。

本年度の調査ではその結果を踏まえ、その課題の状況を詳しく見取るため、社会的事象の意味や働きについての説明を文章で記述したり、関連する身近な具体例を挙げたりする問題や基礎的な知識を活用して解いたり、複数の資料から必要な資料を選択し、情報を正しく吟味して社会的事象を考察したりする問題を取り入れている。

【調査結果のポイント】

おおむね良好な点

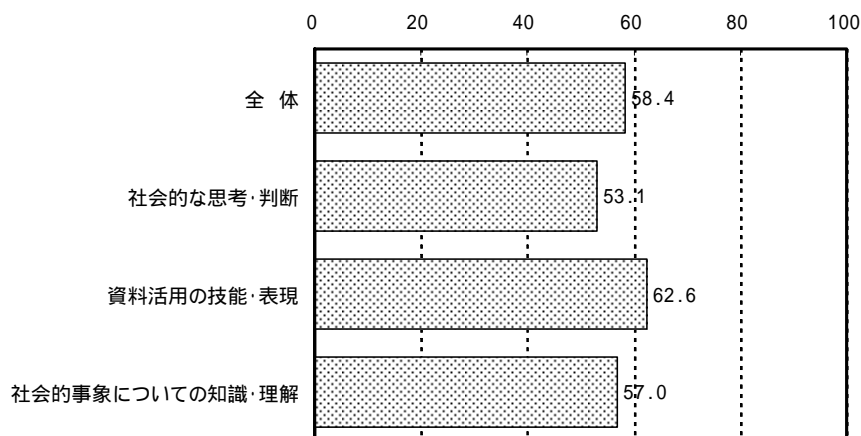
- 基本的な語句と社会的事象を理解すること
- 資料やグラフを活用し、情報を読み取ること

不十分またはやや不十分な点

- 資料を活用し読み取った情報から社会的事象の意味や働きを筋道立てて考えること
- 複数の資料から必要な資料を選択したり，根拠として活用して自分の考えを文章で表現したりすること
- 方位や都道府県の位置や名称などの基礎的な知識や概念の理解とそれらを活用すること

2 学力観点別状況の分析・考察・指導のポイント

【学力観点別通過率のグラフ(%)】



(1) 「社会的な思考・判断」

1(3)，2(2)，4は常識的な既習の知識を活用して考える力を問う問題である。このような問題では約70%の児童生徒は正解できている。

しかし，2(3)の品種改良の意義について立場を変えて考えたり，6(3)の古墳の分布状況から当時の地方の権力の様子を考えたり，7(3)のように説明に適した資料を選択して活用しながら歴史的事象の目的を説明したり，8(2)の日本の国際的な地位向上に貢献した出来事の内容を説明したりする問題など，様々な見方から複数の解答が考えられたり，ある資料から読み取った事実を基に考察するような力が求められる問題では，通過率は20%台になると同時に無解答率が30～40%台であり，こうした思考力・判断力が十分に身に付いているとは言えない。

このことから，「なぜそうなるのか？」という問題解決的な学習を通して，社会的事象の意義や前後の関係をとらえて原因となるものを予測し，追究して説明する力が十分に身に付いていないと思われる。また，複雑な思考を要する問題では無解答率が高い。

社会的事象を覚える学習だけでなく，資料や統計を読み取りながら自分なりに考察して他人に分かるように表現させたり，社会的事象の持つ意味や意義を考えた上で，現在の児童生徒の生活の中で見られるものや実社会に現れていることと関連付けたりする学習を積み上げていく必要がある。また，話し合いによって，より多面的な見方・考え方に触れることができるようにしたい。

(2)「資料活用の技能・表現」

2(2) のグラフから事実を読み取ったり, 3(1) の地図とグラフを組み合わせで正しい事実を読み取ったり, 6(2) の地図から事実を正しく読み取ったりする問題は70%以上の児童生徒が正解しており, 資料から事実を読み取る力は昨年と同様に多くの児童生徒に付いていると言える。

しかし, 1(2) や 5(2) のように方位認識を活用しての地図の読み取りについては, 通過率が他の小問の通過率よりも下がることから, 方位認識が十分身に付いていないことが分かる。

また, 3(3) や 7(2)(3) のように複数の資料から必要な資料を適切を選んで解答したり, 選んだ資料に関連させて社会事象の意義を説明したりする問題では, 通過率が低くなっている。さらに, 文章で解答する問題では, 無解答率が30~50%と高い割合になる場合が多い。これらのことから, 複数の資料から読み取れることを整理して考えたり, 資料から読み取ったことに基づいて自分の考えをまとめて文章で表現したりする力が十分でない傾向があると考えられる。

方位認識は, 身近な実生活の中で培われ, それが縮尺の小さな日本地図や世界地図にまで応用されていく。まずは, 身近な地域の調査等で縮尺の大きな地図を活用して学区の様子を方位を使って表現したり, 調べたりするなどの体験を積んでおきたい。

授業で複数の資料を扱うときには, 一つ一つの資料から読み取れる事実を表や図等で整理しつつ, 資料から読み取れることの全体像を明らかにしたり, 資料相互の関係を考えさせたりする必要がある。資料の活用も, 単に資料を事実の読み取りだけに終わらせるのではなく, 自分の考えはどの資料に基づくものであるかを明らかにするなど説明する根拠として活用する等の学習活動の工夫が必要である。また, 資料から明らかになることや, 考えられることをまとめて口頭で発表するだけでなく, 分かりやすい文章にまとめる活動を授業の中に取り入れるようにする。

社会科のテストの中にも記述問題を入れ, 最初はキーワードを示してそれを活用して記述するなどの段階的な指導をしつつ, 分かりやすい文章を書けるようにしていくことが必要である。

(3)「社会的事象についての知識・理解」

1(1) の岡山県の山地, 高原, 平野などの名称, 4(1) の情報伝達の流れ, 8(1) の大日本帝国憲法の草案起草者, 8(3) 明治以降の外国との戦争の名称, 9(1) の地方自治に関する基本的な語句を問うような問題は, 児童生徒の70%以上は正しく解答できる。

しかし, 1(2) の岡山県の三大河川の名称, 2(1) の都道府県の位置と名称, 6(1) の渡来人たちが当時の日本にもたらしたものの, 7(1) の江戸幕府の支配体制を確立していった徳川家光の名前や業績などの他の知識との区別が紛らわしい問題になると通過率が下がる傾向が見られる。また, 8(2) の明治以降の我が国の国際的な地位が向上することになる歴史的事象や 10(1) の国際連合の役割の具体を問うような大きな時代の流れや国際的な組織の中での社会的事象の理解を問う問題については, 通過率が低い。

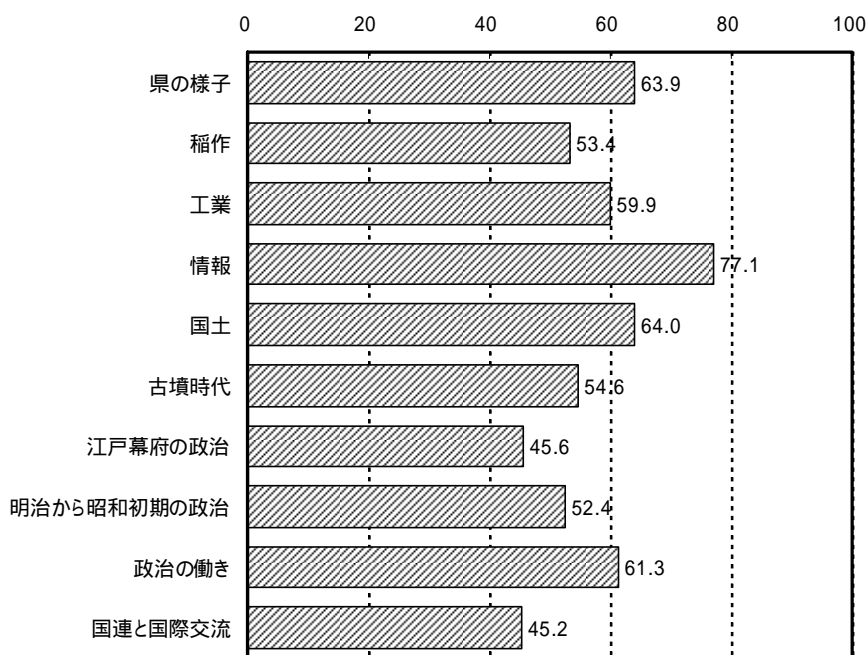
特に歴史に関する学習内容についての通過率が低い傾向が見られるため, 確実な知識の定着を図る必要がある。時代順に学習を進めていくだけでなく, 既習の時代と比較

して考察させたり，表にまとめさせたりするような作業をする等，適宜機会を設けて学習を進める必要がある。

また，地理的，政治的内容については日常生活の中において児童生徒が触れたり気付いたりすることも多くあると考えられる。身近な例として関連した内容を紹介させたり，新聞記事や地図帳などで見付けさせたりするうちに知識として定着すると考えられる。

3 学習領域別状況の分析・考察・指導のポイント

【学習領域別通過率のグラフ(%)】



(1) 「我が国の産業」

2(1)は都道府県別の米の生産量と岡山県の生産量を比較して答える問題であったが，結果からは関東・東北地方の県名と位置が分からず基礎的な知識が十分に定着していないことが分かる。2(3)は稲の品種改良という社会的事象について生産者と消費者の立場からその意義を答える問題であったが，結果からは，その仕事に携わる人々の工夫や努力は何のためにしているのかというところまで理解ができていないことが分かる。

3(1)(2)は，工業地域や工業地帯の分布を読み取り，さらに臨海工業地帯(地域)の概念を問う問題であった。結果からは，工業地帯(地域)の理解が分布の読み取りだけにとどまり，臨海工業地帯(地域)の立地条件を考えることができていないという課題が見えてきた。

我が国の産業の学習では，都道府県の位置や名称のような基礎的な知識を身に付けた上で分布図を読ませたり，統計資料を見せたりして，空間認識とともに社会的事象をとらえさせていく必要がある。また，学習の中で出てくる社会的事象が語句の暗記になら

ないように、その意味や意義を問うような学習課題について学習させていくことが大切である。

(2) 「県の様子・我が国の国土」

①は、岡山県の地形の特色を知識として正しくとらえる問題である。結果からは、特に大部分の児童生徒は(2)の岡山の三大河川の名称と位置が一致していないことが分かった。

⑤は、我が国の近隣諸国の位置関係と地図から日本の範囲や距離を読み取る問題である。大韓民国を問う問題であったが、ニュース等で国名は聞き慣れていても位置を特定できていないことが分かった。日本を含めた世界地図を見る機会が少ないことが要因であると考えられる。

県の様子について、例えば自分たちの住んでいる地域付近の河川は答えられてもそれ以外の河川名が日常生活に活用される場面が少ないのか、知識が定着していない。新聞の地方欄やローカルニュースなどで出てくる地名から地図を見る習慣をつけて、気になる地名は地図で確認するなどの学習習慣を付けさせるよう指導する必要がある。この際、家庭と連携して日常生活の中でも空間認識を育成する環境を育てていきたい。

国土に関する学習では、実際に眺めたり触れたりすることができないものを学習対象とするので、空間認識を育てると同時に社会的事象を空間の位置関係とともに理解する学習活動を工夫することが大切である。

(3) 「我が国の歴史」

⑥は古墳時代を取り上げ、当時の大陸との関係や古墳の分布から読み取れることを問う問題である。結果から、(1)では児童生徒の約6割が、当時渡来人が日本に伝えたものと平安時代に国風文化として日本で作られたひらがなの時間的系列上での整理ができておらず、知識が混同していることが分かった。また、(3)からは古墳の分布から読み取ったことを基に、当時の支配構造を合理的に考察し、表現が十分できる児童生徒が約半数しかいないことが分かった。

⑦は、江戸幕府の始まりを取り上げ、ある歴史的な事象に関連する文章から歴史上の人物名やその業績の一つが武士による政治の安定にどのように関連しているのかを資料活用しながら答える問題である。結果からは、(1)では徳川家光の業績であると判断できる児童生徒が約半数しかいないことが分かる。特に徳川家康との混同が多く見られ、紛らわしい知識について正確な理解が十分にできていないと言える。(2)、(3)は資料活用しながら参勤交代の目的を記述する問題であるが、まず、目的を説明する資料を正しく選ぶことができていない児童生徒が半数しかおらず、さらに資料を活用して説明までできた児童生徒は約30%に満たない数である。これらのことから歴史的な事象の持つ意味をとらえ、その根拠としての資料選択をし、文章で説明する力は十分とは言えない現状が見えてきた。

⑧は、明治から昭和初期にかけての主に外交上のできごとを取り上げて、歴史上の人物名や日本がかかわる主な戦争名や歴史的な事象が日本の国際的な地位の向上にどのような役割を果たしたのかを記述する問題である。自分で選んだ歴史的な事象を日本の国際的な地位の向上の視点から説明する問題の(2)では、無解答率が高く、このような歴史

的事象を歴史の流れの中でとらえて的確に説明できる児童生徒は約 20%である。

主な人物の学習を通して歴史的事象を時系列で学習する活動にとどまらず、その時代の特色と歴史的事象を結び付けてその意味や役割などを理解させるために、歴史上の人物の立場から歴史的事象を見るとともに、その人物の業績に重点を置いて見るようにさせたり、歴史的事象相互の関連に気付かせたりする等の学習活動を工夫することが大切である。

(4)「我が国の政治」

9は、生涯学習センターができるまでの様子を記した文章を読み、政治のしくみを大まかに問う問題である。結果からは、(1)では基本的な知識がほぼ身に付いていることが分かったが、(2)では具体的な公共の施設名を答えることができた児童生徒が半数程度しかおらず、無解答率が約 4 割であった。この学習内容が単なる語句としての知識にとどまり、学習内容が実生活や実社会の中で社会を見る目としての知識までには高まっていないことが分かる。

10は、ねらいとして国際連合の働きを多面的にとらえること、また国際交流を身近な具体例として理解できているかを問う問題である。結果からは、国際連合の役割と国際協力で学習した青年海外協力隊の役割との混同が見られた。また、国際交流の具体例を挙げることができた児童生徒は約 60%いたものの、無解答率が約 30%であり、実生活や実社会ではどのように行われているのかをつかみ切れていない児童生徒がいることが分かった。

政治がどのように私たちの生活にかかわっているのかを調べ、児童生徒が見聞きしたり、生活の中で体験する場面を想起させたりして、概念的な理解とともに具体的な政治的活動を通して政治をとらえることが大切である。

また、第 6 学年の最後の単元となるため、児童生徒が学習を深めることや実生活や実社会との関連を考察するなどの時間の確保をするために年度当初から計画的に学習を進めていくことが必要である。

4 設問別の分析・考察・指導のポイント

問題番号		出題の内容	評価の観点			通過率 (%)	= 出題のねらい, = 分析, = 指導のポイント
大問	小問		思考・判断	技能・表現	知識・理解		
1	(1)ア	県の様子				73.4	(1)岡山県の地形の特色とその名称を理解している。 (2)東西の方位と岡山県の河川の名称を理解している。 (3)岡山県の地形の特色を書いた文章からそこを通る高速道路の経路を選択できる。
	(1)イ					67.9	(1)のウの通過率からは、岡山平野の位置について大部分の生徒は理解できていると考えられる。それに対してア・イの通過率からは岡山県の山地や高原の理解ができていない生徒がやや多いと言える。その原因としては、山地と高原の違いを十分理解していないことが誤答の要因になっているものと思われる。
	(1)ウ					80.3	(2)では、三大河川の名称と位置について、多くの生徒が十分理解できていないと考えられる。河川名だけでなく問題文の中の「東から順に」という条件を読み取れなかった生徒や、地図上の方位を正しく認識できなかった生徒も多いのではないと思われる。
	(2)					29.2	(3)では、岡山県の地形の特色を踏まえ、高速道路の経路とその付近の土地の様子を説明した文章とを結び付けて考える力が十分でないと考えられる。
	(3)					68.7	地形の特色の学習では、地図に加えて写真などの資料を活用し、山地・高原・平野の違いを明確にとらえることができるようにしたい。その際には、自分たちの地域と他の地域を比較することも有効と思われる。三大河川については、水源利用などで地域とかわりの深い河川を確認したり、河川同士的位置関係をとらえさせたりして印象付ける工夫をしたい。また、地形の名称や方位は県内の特色ある地域の学習の際にも繰り返し扱うようにして、定着を図っていききたい。 主な交通網の学習では、名称や位置を確認するだけでなく、指旅行など地図から周囲の様子を想像しながら土地の様子を説明する活動のように、楽しく取り組みながら読図による理解を深めていく学習活動を工夫したい。
2	(1)	稲作				45.9	(1)都道府県の位置と名称を理解し、岡山県の米の生産量と比較して生産量が特に多い都道府県を資料から読み取ることができる。 (2) 米作りに関する統計資料から読み取ったことを表現できる。 (2) 複数の米作りに関する統計資料を関連付けて読み取った傾向の理由を説明できる。 (3)二つのグラフの変化を読み取り、品種改良のねらいを生産者の立場から考え、表現できる。 (3)二つのグラフの変化を読み取り、品種改良のねらいを消費者の立場から考え、表現できる。
	(2)					89.1	(1)このような通過率となった要因としては、単純な数値の読み取りよりも選択肢にある県の位置を地図上で特定できていないことが最も大きいのではないと思われる。 (2) 一つのグラフが示す大まかな傾向を読み取る力は、ほとんどの生徒が身に付けていると言える。 (2) 耕作時間の短縮を機械化の進展と関連付けて説明する力もほとんどの生徒が身に付けていると言える。ただし、無解答率が10.1%あり、記述式解答に対処しにくい傾向が見られる。

問題番号		出題の内容	評価の観点			通過率 (%)	= 出題のねらい, = 分析, = 指導のポイント
大問	小問		思考・判断	技能・表現	知識・理解		
2	(2)	稲作				80.7	(3)稲作の発展を支えてきた品種改良の意義の考察が不十分であると考えられる。これは、品種改良という語句は知っていても、品種改良について人々の工夫や努力がどのようなねらいで行われているのかをとらえ切れていないことを示している。また、無解答率が40%を超えており、記述式解答に対処しにくい傾向が現れていると思われる。
	(3)					25.0	都道府県名とその位置等についての知識は、小学校修了段階までに確実に身に付けるように小学校学習指導要領解説の各学年にわたる内容の取扱いと指導上の留意点2(1)に明記されている。第5学年の教科書の指導内容と関連して適宜扱うにとどまらず、クイズ的な要素も加えるなど、指導方法を工夫して定着を図るようにしたい。また、第6学年の学習においても、歴史的事象に関連した場所を現在の都道府県名で確認するなど、知識が定着するように適宜指導したい。
						26.5	品種改良については、農業試験場の人々が生産者や消費者が求めるものを開発するために長年にわたって努力を続けてきた意味について考える場を設定することが必要である。その際、自分の考えや根拠となる事実を箇条書きにするなど、書く活動を位置付けるとともに、話し合いによってより多面的な見方・考え方に触れることができるようにしたい。
3	(1)	工業				74.6	(1)グラフと分布図から我が国の工業生産の様子を正しく読み取ることができる。 (2)臨海部の工場の立地条件を考えることができる。 (3)我が国の輸出入の様子が分かる複数の資料から、必要な情報を持つ資料を選択し正しく読み取ることができる。
	(2)					57.4	(1)我が国の工業地帯(地域)の分布や工業生産額の特色を地図やグラフから正しく読み取る力は、多くの児童生徒が身に付けていると考えられる。 (2)「海に近いところ」の方が工業がさかんな理由を船舶での大量輸送や土地の確保等の面から考えることができにくかったようである。25.9%の生徒が間違っており、海水を工業用水として使う方に着目してしまったのではないかと考えられる。無解答率が16.7%あり、ここでも記述式解答に対応しにくい傾向が見られる。 (3)我が国の輸出入の特徴について複数の資料から正しく読み取ることが不十分であると考えられる。誤答である3を選択している生徒が31.6%いるが、「適切でないものを選ぶ」という問題を勘違いして輸出・輸入額の変化について明らかに正しいこの選択肢を選んでしまったのではないと思われる。
	(3)					47.8	普段の学習活動の中で、一人で考え、意見をまとめたり、学級全体で意見を出し合い、みんなで考えたりする時間をしっかりと確保することが必要である。例えば臨海部に工場を立地する理由をノートに書いたり、友達に説明したりする等の活動を大事にしていきたい。地図帳の分布図や統計資料を活用して調べる際には、そのグラフのタイトルに着目し資料が示していることをしっかりと確認したり、世界地図や地球儀も用いて位置を確認したり印を付けたりする等の学習活動を工夫することが大切である。

問題番号		出題の内容	評価の観点			通過率 (%)	= 出題のねらい, = 分析, = 指導のポイント
大問	小問		思考・判断	技能・表現	知識・理解		
4	(1)	情報				71.9	<p>(1)情報の伝達の基本的な流れを理解することができる。</p> <p>(2)情報にかかわる人々の工夫や努力から、正確な情報発信の必要性について考えることができる。</p> <p>(3)情報を受ける側が気を付けなければならないことを正しく判断できる。</p> <p>(1)大部分の生徒は基本的な情報伝達の流れを理解できている。また、(2)は、情報を扱う仕事をしている人たちの努力や工夫についても多くの生徒は正しい判断ができていると考えられる。(1)と(2)は選択肢がなく、ふさわしい語句を記入する問題であるが、放送局を見学したり、ビデオやインターネットを活用したり、番組作りをしたりした経験を生かして有効な学習ができていると考えられる。</p> <p>(3)は、情報化社会の中で情報を受ける側の危険性についても、大部分の生徒は正しい判断ができていると考えられる。</p> <p>見学したり視聴覚教材やインターネット等を活用したりして、情報を扱う仕事をしている人々の工夫や努力、放送局や新聞社が果たしている役割について具体的に調べることが大切である。また、情報は私たちの日常生活に大きな影響を及ぼしており、情報モラル(個人情報の保護)等と関連付けて指導することで、情報の有効な活用法を考えさせることが大切である。</p>
	(2)					71.1	
	(3)						
5	(1)	国土				62.2	<p>(1)方位と近隣諸国の位置及び国名が理解できる。</p> <p>(2)我が国の国土の位置や構成について、地図から形状、相対的な位置関係を正しく読み取ることができる。</p> <p>(3)地図からおよその距離を読み取ることができる。</p> <p>(1)大韓民国は日本に近い国の一つであり、しかも、スポーツや文化を通して日本と関係が深いという状況を考えると62.2%の通過率では、理解がやや不十分であると思われる。世界地図上での日本と近隣諸国の位置関係の認識がやや低いと思われる。</p> <p>(2)-3の通過率が82.8%である。その他は、50～70%の通過率である。このような差がでているのは、方位の理解が不十分であると考えられる。</p> <p>(3)の通過率が58.2%である。地図上のおよその距離を縮尺を使って求めるという技能が十分身に付いていない生徒が、半数近くもいると言える。</p> <p>地図帳や地球儀などを活用する時、経度、緯度及び方位等に触れ、国土の位置や範囲、近隣諸国の国名と位置などを調べる作業や実際に地図に書き込む等、学習活動を工夫することが大切である。</p> <p>また、位置を表す方法として、日本と他の国や大陸と位置関係を方位を活用して示すなどの相対的な表し方の指導も取り入れていく必要がある。</p> <p>さらに、第4学年で学習する縮尺については、第5学年以後も、地図帳を活用する際に、努めて使用することが大切である。</p>
	(2)-1					59.3	
	(2)-2					68.2	
	(2)-3					82.8	
	(2)-4					53.5	
	(3)					58.2	
6	(1)	古墳時代				42.3	<p>(1)大陸や朝鮮半島の影響を受けた様子を理解することができる。</p> <p>(2)古墳の分布の資料から、古代の日本の様子を正しく読み取ることができる。</p> <p>(3)古墳の分布の資料から、当時の岡山の様子を考えて、表現することができる。</p> <p>(1)正答の「ひらがな」は国風文化として取り扱われ他の語句とは明らかに異質な語句であり、基本的な知識として身に付けさせたいが、</p>

問題番号		出題の内容	評価の観点			通過率 (%)	= 出題のねらい, = 分析, = 指導のポイント
大問	小問		思考・判断	技能・表現	知識・理解		
6	(2)	古墳時代				75.9	<p>正しく正答できた生徒は半数にも満たなかった。また、「仏教」と「はた織り」の誤答の選択肢をいずれも20%強の生徒が選んでいることから設問の「あてはまらないもの」を「あてはまるもの」と読み間違えたとも考えられる。</p> <p>(2)古墳の分布の資料から大部分の生徒は情報を正しく読み取ることができていると言える。</p> <p>(3)無解答率が19.6%であった。この問題は資料から得られた情報を既習の知識と照らし合わせて合理性がある答えを考えて答えるという問題であり、合理的な考察やその内容を記述する力が弱いと思われる。</p> <p>この時代の学習指導に当たっては、地元にある郷土資料館などを活用して遺物などを観察したり、身近にある古墳などについて調べたりして生徒の関心を高めるようにすることが大切と考えられる。また、私たちの身近にあるものと当時の文化と関連付けて理解させることも重要である。このように自分の考えを書く記述式解答には、抵抗感があるようである。日頃から授業やテストで、記述式の問題に取り組みさせるように努める必要がある。</p>
	(3)					45.6	
7	(1)	江戸幕府の政治				51.0	<p>(1)江戸幕府の支配体制を確立した徳川家光の業績を理解できる。</p> <p>(2)江戸時代に関する様々な統計資料から、参勤交代の目的に関連した資料を選択することができる。</p> <p>(3)参勤交代の目的を資料を活用して説明できる。</p> <p>(4)鎖国政策の背景を説明した文から、江戸幕府のキリスト教に対する政策を判断できる。</p> <p>(1)通過率が51.0%で誤答率が37.8%を超えていることから、生徒の半数は徳川家光の業績への理解が不十分であると言える。教科書に出てくる徳川将軍の人物名と業績が混乱し、幕藩体制の確立期の人物とその業績を関連させて理解することができていないためと考えられる。</p> <p>(2)参勤交代の制度の目的を大名の費用負担という視点からとらえることができず、関連の深いものとして江戸時代の身分別人口のグラフを選択した児童生徒が25.1%もいた。参勤交代の制度の目的及び各グラフが示す歴史的事象を費用負担の視点から関連付けて考えることが十分できていない生徒が多くいたためと考えられる。</p> <p>(3)通過率は27.6%で、誤答率が30.6%で無解答率が41.7%ある。参勤交代の制度の目的を正しく理解できていないとともに、文章記述で資料と目的との関係を説明することが不十分であると考えられる。</p> <p>(4)基本的な知識として鎖国政策について述べた複数の文章から共通する語句を推測する問題である。また無解答率が18.4%あり、キリスト教に対する幕府の政策を多面的に理解するが不十分であると考えられる。</p> <p>幕藩体制の確立期における重要な政策については、教科書の用語にアンダーラインを引かせたり、人物の業績と関連させてその政策の目的を考えさせたりしながら指導し、まとめの段階で人物ごとに業績を表にまとめさせるなどノートの整理をさせることが必要である。</p> <p>教科書に掲載されているグラフから分かることを発表し合う等、資料を読み取る活動や、資料と歴史的事象を関連付けて考える学習活動を工夫することが大切である。</p>
	(2)					50.1	
	(3)					27.6	
	(4)					53.8	

問題番号		出題の内容	評価の観点			通過率 (%)	= 出題のねらい, = 分析, = 指導のポイント
大問	小問		思考・判断	技能・表現	知識・理解		
8	(1)	明治から昭和初期の政治				70.1	<p>(1)明治維新に活躍した人物から大日本帝国憲法の草案をつくった人物を選択できる。</p> <p>(2)我が国の国際的な地位が向上した歴史的な事象を取り上げて、その理由を説明できる。</p> <p>(3)明治時代以降の外国との戦争の流れを理解できる。</p> <p>(1)伊藤博文と大日本国憲法の草案づくりの関連について大部分の児童生徒は理解していると言える。</p> <p>(2)大日本帝国憲法の発布、治外法権の廃止、関税自主権の回復という歴史的な事象とその内容を国際的な地位の向上と関連付けて説明するという思考力と深い知識・理解を必要とする問題である。</p> <p>(3)明治時代以降の外国との戦争の流れについて理解している生徒が多い。</p> <p>学習の導入やまとめの段階で、年表を活用して歴史を概観しておおまかな流れを把握させたい。</p> <p>近代の国際的な地位を向上させる歴史的な事象について、その内容や意義を関連付けて考え、文章記述するという難易度の高いレベルの学習課題にも、理解の程度に応じて取り組ませたい。</p>
	(2)					20.2	
	(3)					67.0	
9	(1)	政治の働き				70.7	<p>(1)公共施設の建設を例に地方公共団体の働きやしぐみを理解できる。</p> <p>(2)公共施設の意味を考え公共施設の例を具体的に挙げるができる。</p> <p>(1) は地方自治にかかわる最も基本的な「税金」・「選挙」という語句の理解を問うものである。「市民がおさめた」・「市民の代表として・・・選ばれた」といった前後の文言から正解が得られると考えられるが、両者とも70%程度の通過率であった。「税金」については、昨年度「納税が国民の義務の一つである」という理解が91.3%と非常に高かったのに比べ、「税金」そのものを答えることがやや低かったのは、「税金」がどのようなもので、どのように使われているかの具体的な認識が不十分であると考えられる。</p> <p>(2)具体的な公共施設の例を問う設問であるが、約50%の通過率であり無解答率も30%を超えている。公共施設が、抽象的な語句の理解にとどまり、具体的な身近な建物であるという理解が不十分であると考えられる。</p> <p>「政治の働き」は概して抽象的な学習になりがちであるが、地方の政治を学習することにより、政治をより身近なものとしてとらえさせることができる。それぞれの語句を単に暗記させるだけではなく、日常生活の具体的な事象や身近な暮らしの中のできごとと常に関連付けることで実生活や実社会に結び付けて理解させる指導が大切である。</p>
	(1)					73.0	
	(2)					53.7 47.6	
10	(1)	国連と国際交流				31.6	<p>(1)国際連合の働きについて理解できる。</p> <p>(2)国際交流の意味を理解し、具体的例を挙げるができる。</p> <p>(1)国際連合の働きにかかわる設問であるが、通過率が31.6%と低い。これは、国際交流の項で学習する青年海外協力隊の理解が不十分で国際連合の活動と混同していることが、その理由と考えられる。</p> <p>(2)国際交流について通過率は58.9%とその理解が不十分で、その上、無解答率が29.7%と高い。授業中に教師が事例を掲げる中で答</p>

問題番号		出題の内容	評価の観点			通過率 (%)	= 出題のねらい, = 分析, = 指導のポイント
大問	小問		思考・判断	技能・表現	知識・理解		
10	(2)	国連と国際交流				58.9	<p>えることはできても、いざ解答を記述するとなると思いつかなかった生徒も多いと考えられる。</p> <p>(1)国際連合の目的については、募金活動など日常生活の中の具体的な事例と結び付けて理解させたい。また、「国際協力」については政府が行うもの、民間のボランティア活動で行われるものなど、丁寧に整理させながらまとめる工夫が大切である。</p> <p>(2)「国際交流」については、マスメディアの発達により、特にスポーツによる国際交流などを目にするが増えてきており、日常生活の身近な場面を取り上げながら概念の定着を図るとともに、具体例を探して説明するような学習場面を授業に入れていく必要がある。</p>

5 小学校・中学校における指導のポイント

今回の調査から、昨年と同様に社会的事象の意味や働き及び基礎的知識や概念の理解とその活用が十分にできていない実態が概観された。その結果の詳しい状況については、基本的な地名や方位を踏まえた地図上の場所を理解できていなかったり、歴史的事象とその歴史的な意味とが十分に結び付いていなかったり、地方自治体のような概念での理解はできていても実生活や実社会ではどのようなものとして存在しているのかを理解できていなかったりする傾向が見られた。

また、社会的事象の内容を文章で説明したり、複数の資料から読み取ったことをもとに考察したり、逆に資料を選択して自分の考えを文章で表現したりする力が不十分である児童生徒が多いことも浮かび上がってきた。

「小学校」

地図活用の指導では、第3・4学年においては、絵地図から市町村や県全体の平面地図へと学習を進めていく間に距離感や方位の認識を実体験とともに意識させながら指導する。

例えば、教室にいつも親しめるように地図を掲示し、機会があるごとに付箋やピンなどで関心のある対象を示していくなどの活動を通して、広い範囲での空間認識を育成する基礎を培う取組も考えられる。

さらに第4・5学年の地図帳の指導の場面では、地図帳の索引等を使って位置を調べる技能や地図記号を指導するだけでなく、学習対象とする地域をなぞってみたり、指で押さえてみたりするなどの活動によって広がりや結び付いている他の地域との位置関係に着目させ、その特色をつかませるような指導の工夫が必要である。

第4学年以降の指導では地図帳を他の教科や総合的な学習の時間に活用させることで、様々な事象を、方位も含めた空間的な認識を踏まえて理解させることができる。また、身近な市町村や国土及び近隣諸国から世界各国への興味や関心を高めていくことも可能となる。

歴史学習では問題解決的な学習過程を基本とするので、児童は歴史上人物に関する資

料を探したり、調べた事実をまとめたりする活動を経験しているが、歴史的事象を調べて文章を書き写しそのまま読み上げて終わるのではなく、自分の言葉を使って文章でまとめたり、歴史上の人物の業績に見出しを付けたりするなど、歴史的事象に対するとらえ方が分かるようにまとめ、それをクラスやグループで発表し合わせるような学習活動をしていくことが大切である。

さらに、調べ学習後の話し合いの指導も重視し、どのような学習をしてきたのか、以前に学習した人物が生きた時代の特色との違いは何だったのか等を児童に問いかけ、今までの学習を振り返り、学習内容が定着するように工夫することを大切にしていきたい。

日本の政治や国際協力については、概念的なものを説明して教えるような傾向になりがちなので、日常生活との結び付きを大切にするためにも、授業の導入やまとめで、ニュース番組の一部を見せたり、新聞の一部を読ませたりするなどの学習場面を取り入れ、児童が実感できるように授業展開を工夫することにより、更に理解が深まり、現代社会をとらえる視点を持てるようになって考えられる。

記述式解答の無解答率が高かったことに対しては、発達段階を考慮しながら、様々な資料から情報を取り出し、整理して自分の考えを持つこと、そしてそれを文章で表現することを授業の中で大切にしていきたい。また、併せて、評価方法を工夫し、既習の学習内容を活用して考える問題や記述による説明を求める問題を取り入れるなど、身に付いた力がどの程度なのかを客観的に評価できるようにしていくことも大切である。

「中学校」

地理的分野では、生徒の中には基礎的な知識として都道府県の位置や名称を理解できていなかったり、方位の認識が十分身に付いていなかったりする生徒がいることから、中学校の早い段階で繰り返し都道府県の位置や名称を確認することが必要である。方位を使って相対的に都道府県を表すようなクイズをつくらせるなど、楽しく覚えられよう工夫も必要である。

また、複数の資料を扱うと資料相互の関連や読み取ったことを分析したり考察したりすることが十分できない生徒がいることから、中学校では授業で資料やグラフなどを活用する場面が多くなるので、資料の読み取りに慣れるとともに、読み取れることを表や図にまとめるなど、読み取ったことを整理してから考察するように指導する必要がある。

さらに、歴史的事象とその歴史的な意味や基礎的な知識が十分に結び付いていない生徒がいることから、詳細な事象の学習にならないよう配慮しつつ、学習指導要領に示された「古代までの日本」のような大項目レベルの学習を終えた段階で、既習の歴史的事象と用語を確認させ、時代ごとに歴史的な事象をまとめたり関連付けたり、他の時代の共通点や相違点を明らかにすることで歴史的な事象の歴史的意味がとらえやすくなり、基礎的な知識を再確認することができると思われる。

政治的分野は歴史的な分野の戦後史と第3学年の公民的分野で学習することから、普段から社会で起こる身近な事象を用いて概念の理解を促しておくなど、第1・2学年の授業であっても公民的分野の学習内容を意識させておくようにすることが望まれる。

平成18年度 学習到達状況調査

社 会 調 査 票

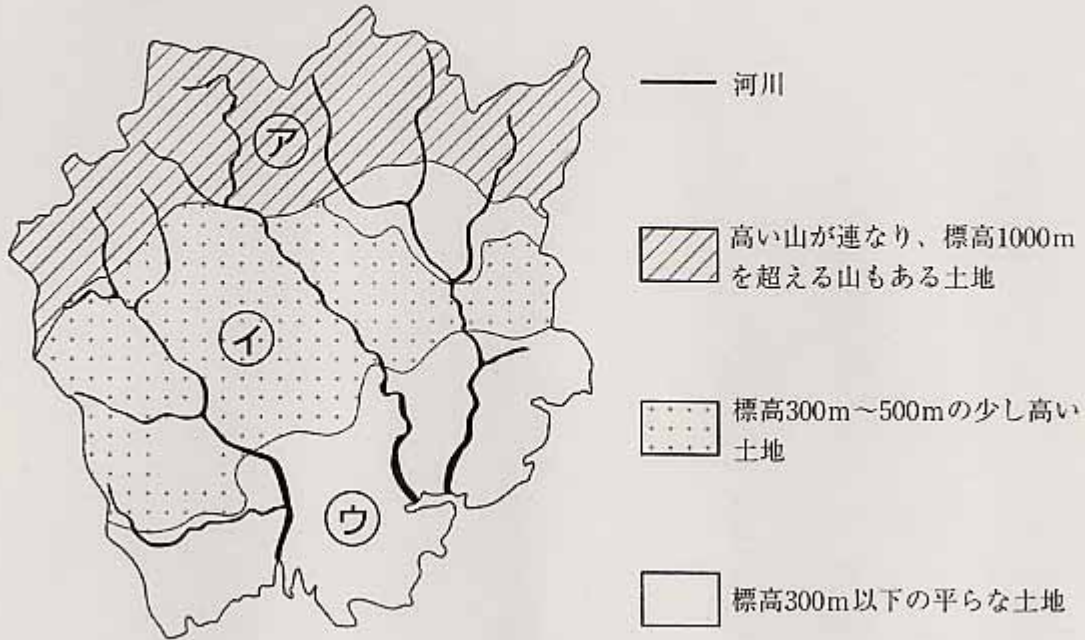
注 意

- 1 実施時間は45分です。12ページまでのすべての社会の問題に取り組んでください。
- 2 先生の合図があるまで中を開かないでください。
- 3 答えは、別に配られる解答用紙の決められた場所に、はっきりと書いてください。
- 4 この冊子のあいているところは、下書きなどに自由に使ってください。

1 年 組	番	ふりがな	
		名 前	

1 次の地図を見て、あとの問いに答えましょう。

岡山県の土地の様子



(1) 上の地図 ア・イ・ウ のあたりの地域の名前を次の の中から選ん

【通過率】 で書きましょう。

73.4% ア 中国山地

【通過率】 イ 岡山平野 中国山地 吉備高原

【通過率】 ウ 岡山平野
80.3%

(2) 地図中に示されたように、岡山県には大きな河川が三本流れています。東から順に河川の名前がならんでいる組み合わせはどれでしょう。次の1～4から一つ選び、その番号を書きましょう。

【通過率】

29.2%

- 1 旭川 — 吉井川 — 高梁川
 ② 吉井川 — 旭川 — 高梁川
 3 高梁川 — 吉井川 — 旭川
 4 高梁川 — 旭川 — 吉井川

(3) 次の文章は、岡山県内の高速道路を通ったときのその周辺の様子を示したものです。そのルートを示しているのは、あとの【通過率】 68.7% 1～4のどれでしょう。もっとも適しているものを一つ選び、その番号を書きましょう。

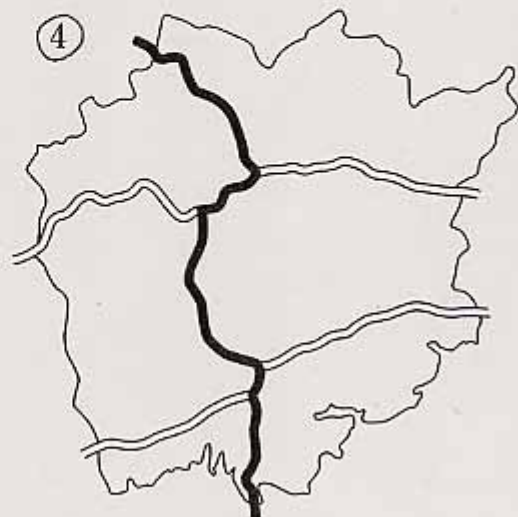
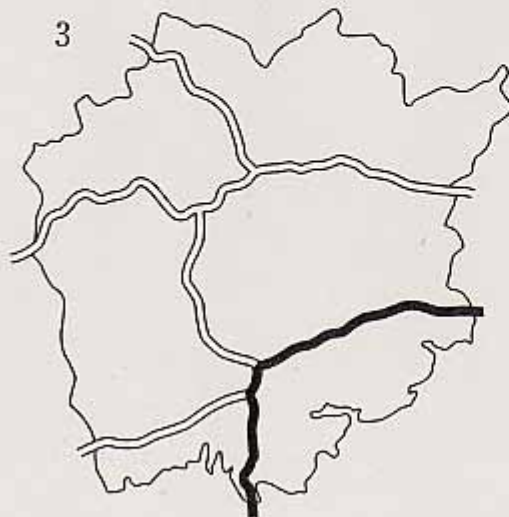
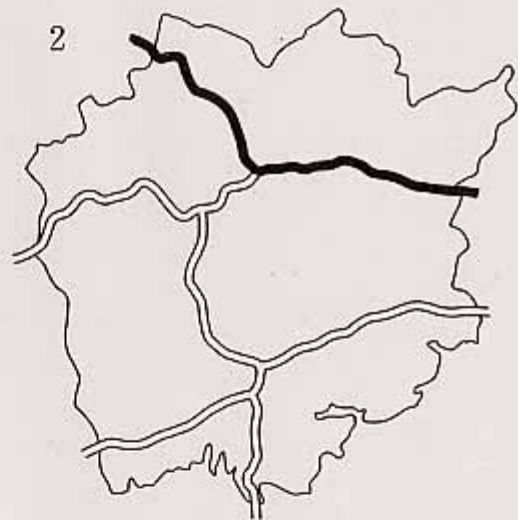
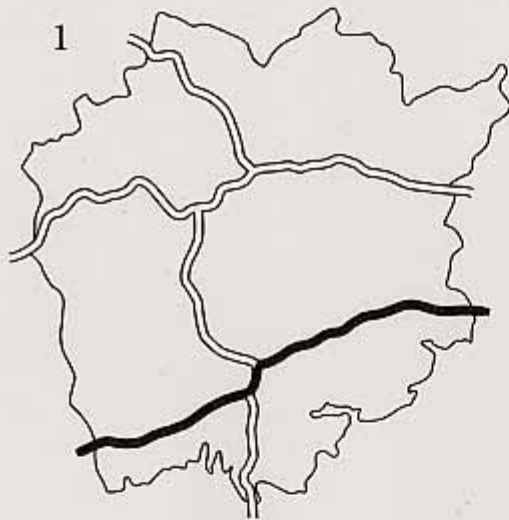
岡山県に入ると県境のあたりでは標高の高い山が周りがある。その山々にはヒノキやスギが規則正しく植えてある場所が多い。

しばらく進むと、しだいに山の標高が低くなり、ゆるやかな斜面のあちらこちらに家や畑が見られるようになる。

さらに進むと、平地に形の整った田が広がり、しだいに住宅が増えてくる。市街地に入ると、住宅だけでなく、大きな建物が多くなって来る。

やがて、高速道路の西側には、高いえんとつを持つ工場群が集中した一帯が広がってくる。

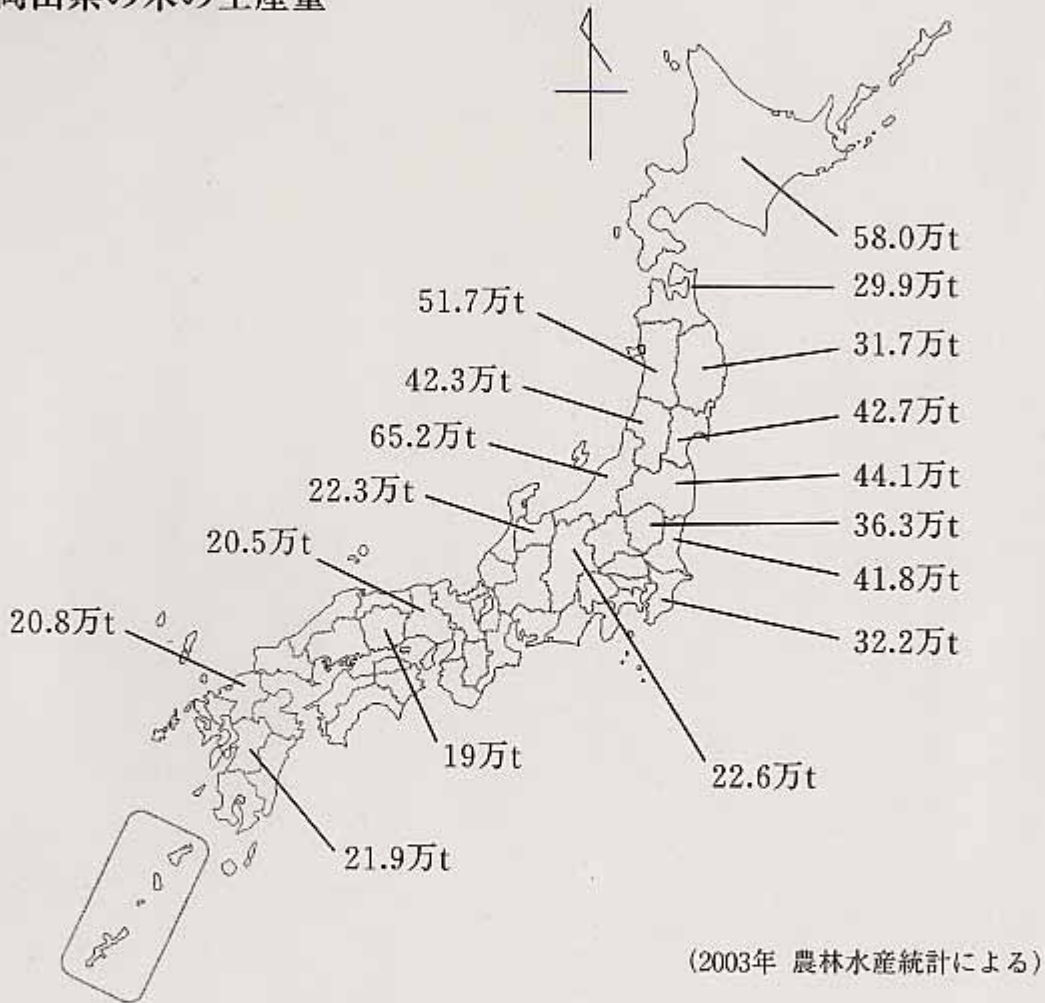
しばらくすると、海にかかる大きな橋が見え、すぐに県境となる。



2 米作りについて、次の問いに答えましょう。

(1) 次の地図は、2002年の米の生産量が20万t以上の都道府県と岡山県の米の生産量を書き込んだものです。この年の米の生産量が、岡山県の2倍以上だった県を、あとの1～4から一つ選び、その番号を書きましょう。

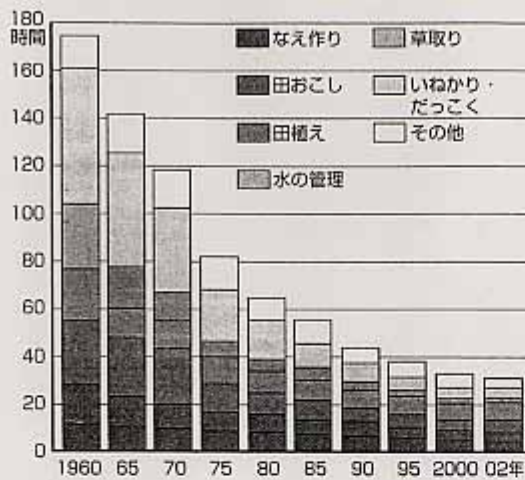
米を20万t以上生産した都道府県と岡山県の米の生産量



- 1 岩手県 2 栃木県 ③ 山形県 4 青森県

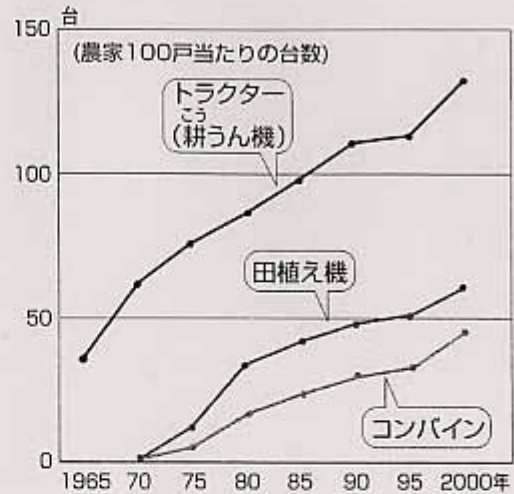
(2) 米作りの機械化について、次のA、Bの資料を見て、あとの問いに答えましょう。

【資料A】



年間耕作時間のうつり変わり (10aあたり)
(2003年 農林水産省調べ)

【資料B】



主な農業機械の広まり
(2001年 農林水産省調べ)

【通過率】

89.1%

① 【資料A】で、年間耕作時間は、どのように変化していますか。

作業時間が短くなってきた

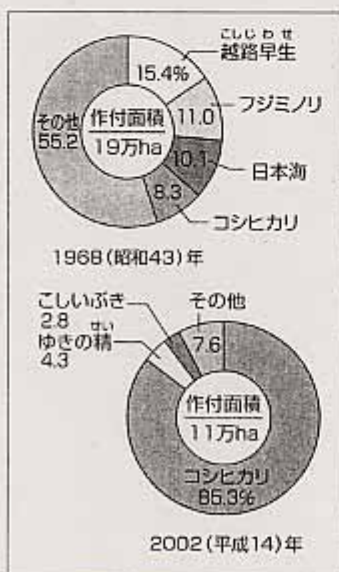
【通過率】

80.7%

② 【資料B】から分かることと関連させて、①で答えたことの理由を説明しましょう。

米作りに農業機械がはじめて多く使われるようになったから

(3) 次の資料は、栽培されている稲の品種の変化の一例を示しています。このように、稲の品種が変化する理由を生産者と消費者の立場から一つずつ答えましょう。



新潟県で栽培されている
稲の品種 (食糧庁調べ)

生産者の立場からの理由

【通過率】

25.0%

・病気や害虫に強い米をつくりたから
・気候にあった米をつくりたから

消費者の立場からの理由

【通過率】

26.5%

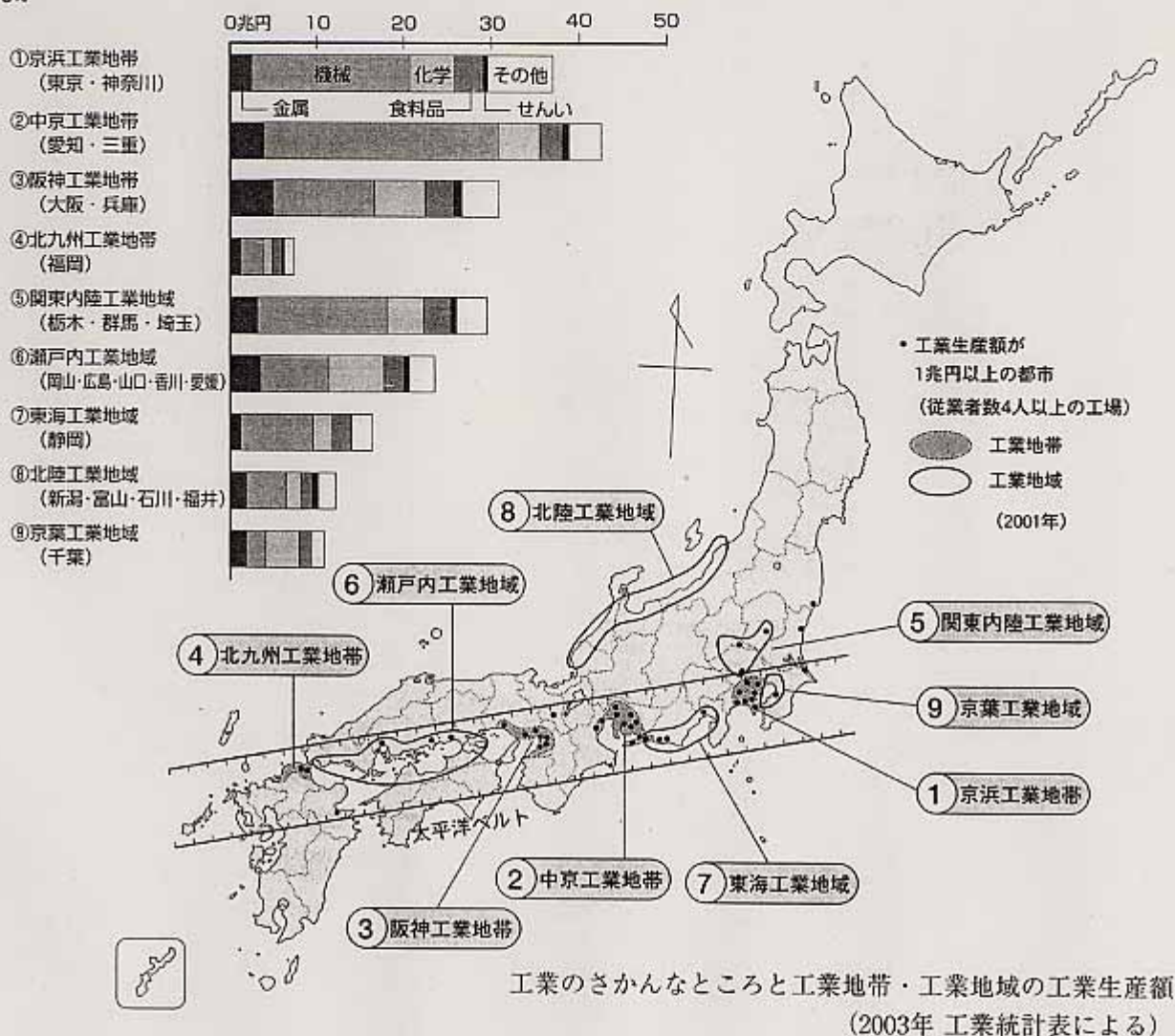
・味のおいしい米を食べたいから
・農薬の使用量が少しい米を食べたいから

3 日本の工業や貿易の様子について、次の問いに答えましょう。

(1) 工業がさかんな地域について示した下の資料から分かることのうち、

【通過率】 正しい内容の文をあとの1～4から一つ選び、その番号を書きましょう。

74.6%



- ① 工業生産額の一番多いところは、中京工業地帯である。
- ② 工業地帯や工業地域でつくっているものは、どこも化学製品が一番多い。
- ③ 北海道や九州は、他地域に比べて工場がたくさんある。
- ④ 日本海側には、工業地帯や工業地域が見られない。

(2) 資料から、「海から遠く離れたところ」よりも「海に近いところ」の

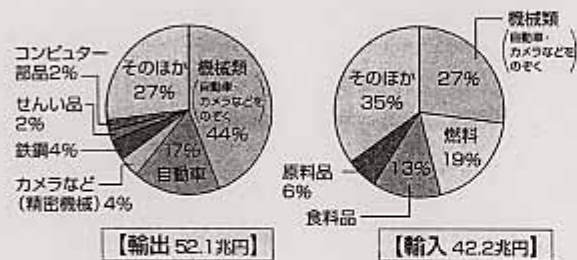
【通過率】 方が工業がさかんということがわかりますが、「海に近いところ」の方

57.4% 方が工業がさかんな理由を書きましょう。

輸入や輸出がと輸送に適している。
工業用地の確保に適している。

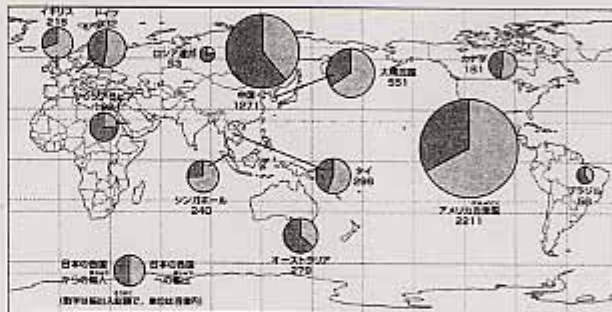
(3) 日本の貿易に関する次の四つの資料から分かることについて、適切で【通過率】ないものを、あとの1～4から一つ選び、その番号を書きましょう。
47.8%

日本の輸出・輸入品の内わけ



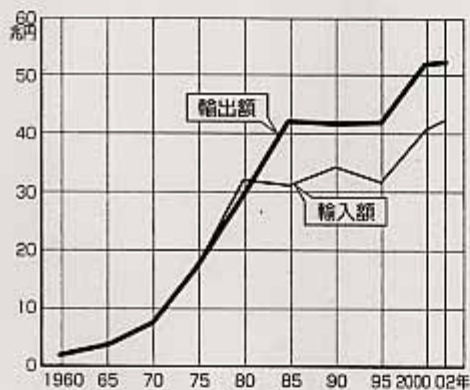
(2002年 通商白書による)

日本の主な輸出・輸入相手国



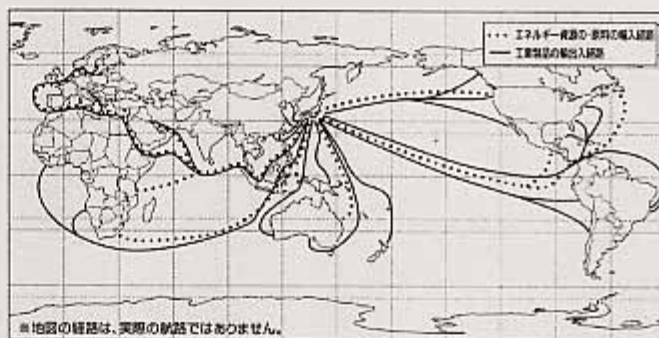
(2003年 通商白書による)

日本の輸出・輸入額の変化



(2003年 経済産業省調べ)

輸出・輸入に使われる主なルート



(2003年 日本船主協会調べ)

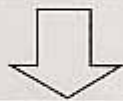
- 1 自動車は日本の主要な輸出品である。
- ② 日本にとってオーストラリアは世界で最大の貿易相手国である。
- 3 近年は輸入額に比べて輸出額が大きくなっている。
- 4 アメリカ合衆国との貿易には船が利用されている。

4 情報について、次の問に答えましょう。

(1) 放送や新聞などの情報をあつかう仕事を
【通過率】 71.9% している人々は、右の図のような流れで仕事をしています。()にもっともふさわしい語句を書きましょう。

(2) 下の文は、情報をあつかう仕事をしている
【通過率】 71.1% 人たちの努力や工夫していることについて書かれています。このような努力や工夫は、情報をどのように発信するために行っているのでしょうか。あとの< >にあてはまる語句を書きましょう。

- まちがった情報が社会に伝わると、多くの人たちに迷惑をかけるので、伝える直前まで何度も確認してから発信します。
- 情報は、情報源を確かめてから伝えるようにします。



情報を< 正確に >発信するため。

(3) 次の文は、ある中学生の生活について述べた文章です。1～4のうち、
【通過率】 88.1% 危険性がもっとも高いものを一つ選び、その番号を書きましょう。

- 1 明日の天気を知りたいときには、新聞よりもインターネットやテレビ・ラジオの天気予報で調べるようにしている。
- 2 コンビニエンスストアでコンサートのチケットを買ったり、インターネットで買った商品を受け取ったりしている。
- 3 インターネットで買い物をするときは、その店の信用を確かめ、他の店の値段と比べてから決めるようにしている。
- ④ ホームページをつくるときに、見てくれた人の感想をもらうため、メールアドレスの他に住所や電話番号をのせるようにしている。

【情報伝達の流れ】

情報を(得る)



情報を選び編集する



情報を発信する

- 5** 次の地図は、日本とそのまわりの様子を表したもので、地図上の四つの島（えとろふ 択捉島、みなみとり 南鳥島、おきのとり 沖ノ鳥島、よなぐに 与那国島）は、日本の国土のはしにあたります。この地図を見て、あとの問いに答えましょう。



- 【通過率】 (1) 地図に示されているアの国の名前は、何と言いますか。

62.2%

大韓民国

- (2) 地図から読みとれることは何ですか。正しいものには○を、あやまったものには×を書きましょう。

【通過率】

59.3% 1× 日本の南のはしは、南鳥島である。

【通過率】 2× 日本の南北のはんいは、北緯20度から北緯40度までである。

68.2%

【通過率】 3○ 日本は弓なりの形をしていて、四つの大きな島と小さな島々からできている。

82.8%

【通過率】 4× 日本は、ユーラシア大陸の西に位置している。

53.5%

- (3) なは 那覇市（沖縄県）は、東京から直線でどのくらい離れていますか。もっとも近いものを次の1～4から一つ選び、その番号を書きましょう。

【通過率】

58.2%

1 約500 km

2 約1000 km

③ 約1500 km

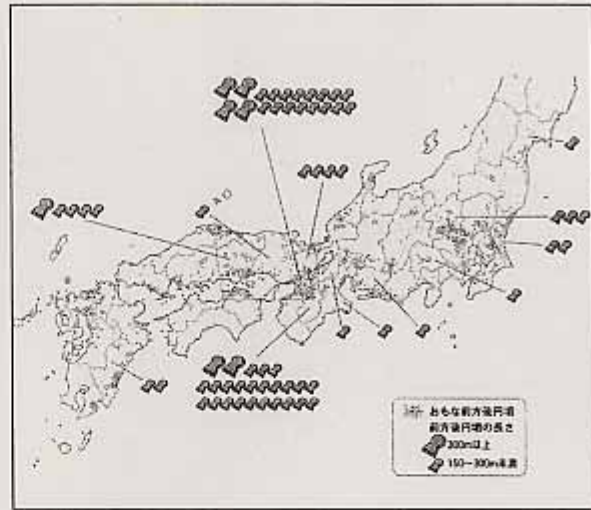
4 約2000 km

6 古墳について、あとの問いに答えましょう。

A 大仙(山)古墳



B 前方後円墳の分布図



(1) Aのような巨大な古墳がつくられたころには、中国や朝鮮から来た渡
【通過率】 来人たちの活躍がありました。彼らが日本に伝えたものとして、あては
 42.3% まらないものを次の1～4から一つ選び、その番号を書きましょう。

- 1 仏教 ② ひらがな 3 はた織り 4 漢字

(2) Bの図から分かることとして正しい内容の文を次の1～4から一つ選
【通過率】 び、その番号を書きましょう。
 75.9%

- 1 300m以上の大きな前方後円墳は、全国に10以上ある。
 2 大陸に近い福岡県には150mをこえる前方後円墳がたくさんある。
 ③ 300m以上の大きな前方後円墳が一番多いのは大阪府である。
 4 四国地方は他の地方に比べて150mをこえる前方後円墳が多い。

(3) 岡山県は、全国的に見ても大きな古墳が集まっていますが、このこと
【通過率】 からどのようなことがわかりますか。説明しましょう。
 45.6%

岡山に強大な権力があつたことを示している。

7 江戸幕府の行った政治について、次の資料を見て、あとの問いに答えましょう。

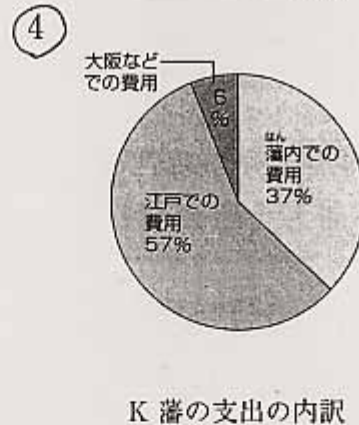
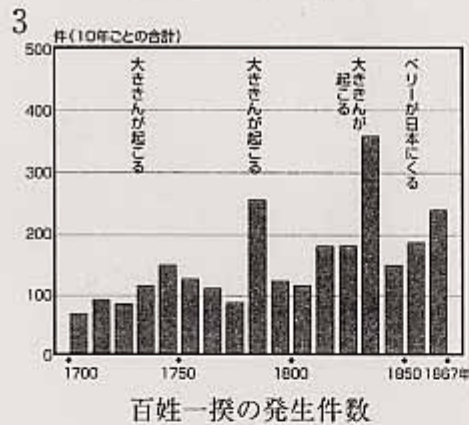
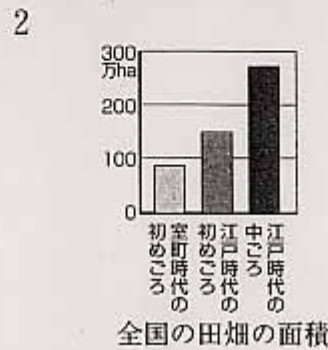
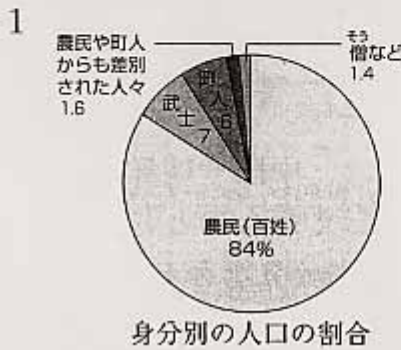
右の人物は、江戸幕府の第三代将軍である。江戸と領地を行き来する参勤交代の制度をつくった。
また、日本人が外国に行くことを禁止し、貿易を制限する鎖国という政策を行った。



【通過率】(1) 上の資料の人物の名前を書きましょう。
51.0%

徳川家光

【通過率】(2) 上の資料の人物がつくった参勤交代の制度の目的ともっとも関連するグラフを、次の1~4から一つ選び、その番号を書きましょう。
50.1%



【通過率】(3) (2) で選んだ資料に関連させて、参勤交代の制度の目的を説明しましょう。
27.6%

江戸と領地の間の移動や江戸での生活で費用を使わせ、藩が豊かにならないうようにし、幕府に反抗する力をつけさせないようにするため。

【通過率】(4) 鎖国政策について説明した次の文章中の()には、同じ語句が入ります。その語句を書きましょう。
53.8%

- ・幕府は、信者たちが団結して幕府の命令をきかなくなることをおそれて、()を禁止した。
- ・幕府は、九州の島原や天草で起こった一揆の後、()の取りしまりをいっそう強めた。
- ・幕府は、貿易の相手を()を広めるおそれのない中国とオランダに限り、長崎で貿易を行った。

8 明治から昭和初期にかけての日本の主なできごとについて、下の年表を見て、あとの問いに答えましょう。

年 号	で き ご と
1868年	明治政府ができる。
1886年	ノルマントン号事件が起こる。
1889年	大日本帝国憲法が公布される。・・・・・・・・・・・・・・・・①
1894年	イギリスとの間で不平等条約の一部を改正し、 ^{ちがいほうけん} 治外法権の廃止を決める。・・・・・・・・・・・・・・・・②
1894年	日清戦争が起こる。
1904年	(ア) 戦争が起こる。
1910年	日本が、韓国を併合する。
1911年	アメリカとの間で不平等条約を改正し、 ^{かんぜいじしゆけん} 関税自主権の回復を決める。・・・・・・・・・・・・・・・・③
1931年	(イ) 事変が起こる。
1933年	日本が、「満州国」をつくる。
1937年	日華事変(日中戦争)が起こる。
1941年	(ウ) 戦争が起こる。

【通過率】 70.1% (1) 初代の内閣総理大臣になり、下線部の大日本帝国憲法の草案づくりを進めた人物は誰でしょうか。次の1～4から選び、その番号を書きましよう。



【通過率】 20.2% (2) 年表中の①～③は、いずれも日本の国際的な地位を向上させることとなった出来事です。このうちから一つを選び、その内容を説明しましょう。
①アジアではじめて憲法にもとづいて政治を行う国になり、近代国家の仲間入りができる。

【通過率】 67.0% (3) 年表の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の正しい組み合わせを、次の1～4から選び、その番号を書きましよう。

- | | | | |
|---|---------|---------|---------|
| 1 | ア (太平洋) | イ (満州) | ウ (日露) |
| 2 | ア (日露) | イ (太平洋) | ウ (満州) |
| ③ | ア (日露) | イ (満州) | ウ (太平洋) |
| 4 | ア (満州) | イ (日露) | ウ (太平洋) |

- 9 次の文は、生涯学習センターができるまでのようすについて述べたものです。文を読んで、あとの問いに答えましょう。

わたしたちの住んでいる市では、市民からの願いや思いにこたえ、生涯学習センターという文化施設をつくりました。

市民がおさめた(①)や国や県からの補助金を建設費用にどのくらい使うか、施設をどう運営するかなどについて、市民の代表として(②)で選ばれた議員が、市議会で何度も話し合いました。その結果、生涯学習センターは市民が一生を通して学習を進めていける施設として完成し、今では多くの市民に利用されています。

- (1) (①) (②) にそれぞれあてはまる語句を書きましょう。

【通過率】 【通過率】

70.7% 73.0%

税金 選挙

- (2) 生涯学習センターなどのように、住民の願いを取り入れながら、国や県、市・町・村が、議会で話し合って、建設した建物や場所には、この他にどんなものがありますか。二つ書きましょう。

【通過率】 【通過率】

53.7% 47.6%

公民館、図書館 など

- 10 国際協力や国際交流について、次の問いに答えましょう。

- (1) 国際連合のはたらきについて、適切でないものを1～4から一つ選び、

【通過率】 その番号を書きましょう。

31.6%

- 1 国際連合は、世界平和と安全を守ることを目的としている。
- 2 国際連合には、地球環境問題に取り組んでいる機関がある。
- 3 国際連合には、世界中の人々に募金を呼びかけ、困難な状況におかれている子どもたちを守る活動をするユニセフがある。
- ④ 国際連合には、教育や医療・農業などの技術指導を行う青年海外協力隊がある。

- (2) 我が国はスポーツ、文化の分野でさまざまな国際交流を行っていますが、

【通過率】 具体的な例を一つあげましょう。

58.9%

オリンピック、国際競技会などのスポーツによる国際交流

平成18年度 学習到達状況調査

社会 解答類型分類表

解答類型分類にかかる留意事項

- 1 社会科における学習到達度をみるのが目的であるので、基本的には意図が伝われば許容する。誤字脱字などの文字表現の不備については広く許容する。また、人物名等について、ひらがなで表記している場合も許容する。
- 2 文章表現についても広く許容する。てにをはの誤りや文末表現の不備については許容する。

問題番号	連番	解答類型	番号	正誤	
1	(1) ア	1) 中国山地	1	○	
		上記以外の解答	9	×	
		無解答	0	×	
	(1) イ	2) 吉備高原	1	○	
		上記以外の解答	9	×	
		無解答	0	×	
	(1) ウ	3) 岡山平野	1	○	
		上記以外の解答	9	×	
		無解答	0	×	
	(2)	4)	1と解答しているもの	1	×
			2と解答しているもの	2	○
			3と解答しているもの	3	×
			4と解答しているもの	4	×
			無解答	0	×
	(3)	5)	1と解答しているもの	1	×
2と解答しているもの			2	×	
3と解答しているもの			3	×	
4と解答しているもの			4	○	
無解答			0	×	
2	(1)	6)	1と解答しているもの	1	×
			2と解答しているもの	2	×
			3と解答しているもの	3	○
			4と解答しているもの	4	×
			無解答	0	×
	(2) ①	7)	米作りの作業時間がだんだん短くなってきたことを記述しているもの。	1	○
			上記以外の解答	9	×
			無解答	0	×
	(2) ②	8)	米作りに農業機械(トラクター, 田植機, コンバイン)がしだいに多く使われるようになってきたから。など, 妥当性のある解答なら正解とする。	1	○
			上記以外の解答	9	×
			無解答	0	×

問題番号	連番	解答類型	番号	正誤	
(3) 生産者	9)	・病気や害虫に強い米をつくりたかったから。 ・気候に合った(温度変化に強い)米をつくりたかったから。 ・台風などの強風にも倒れにくい米をつくりたかったから。など、 妥当性のある解答なら正解とする。	1	○	
		----- 上記以外の解答	9	×	
		----- 無解答	0	×	
	(3) 消費者	10)	・味のおいしい米を食べたいから。 ・病気に強く農薬の使用量が少ない米を食べたいから。など、 妥当性のある解答なら正解とする。	1	○
			----- 上記以外の解答	9	×
			----- 無解答	0	×
3	(1)	1と解答しているもの	1	○	
		----- 2と解答しているもの	2	×	
		----- 3と解答しているもの	3	×	
		----- 4と解答しているもの	4	×	
		----- 無解答	0	×	
	(2)	12)	輸入や輸出など輸送に適している。工業用地の確保に適している。 労働人口が多い。交通が発達している。など、妥当性があれば正解とする。	1	○
			----- 上記以外の解答	9	×
			----- 無解答	0	×
	(3)	13)	1と解答しているもの	1	×
			----- 2と解答しているもの	2	○
			----- 3と解答しているもの	3	×
			----- 4と解答しているもの	4	×
			----- 無解答	0	×
	4	(1)	「得る」(つくるも可)という意味に判断されるもの 例 収集する。取材する。集める, 等	1	○
			----- 上記以外の解答	9	×
----- 無解答			0	×	
(2)		15)	正確に, 正しく, 間違いのないように, 等	1	○
			----- 上記以外の解答	9	×
			----- 無解答	0	×

問題番号	連番	解答類型	番号	正誤	
	(3)	16)	1と解答しているもの	1	×
			2と解答しているもの	2	×
			3と解答しているもの	3	×
			4と解答しているもの	4	○
			無解答	0	×
5	(1)	17)	大韓民国(韓国)	1	○
			上記以外の解答	9	×
			無解答	0	×
	(2)	18)	○と解答しているもの	1	×
			×と解答しているもの	2	○
			上記以外の解答	9	×
			無解答	0	×
	(2)	19)	○と解答しているもの	1	×
			×と解答しているもの	2	○
			上記以外の解答	9	×
			無解答	0	×
	(2)	20)	○と解答しているもの	1	○
×と解答しているもの			2	×	
上記以外の解答			9	×	
無解答			0	×	
(2)	21)	○と解答しているもの	1	×	
		×と解答しているもの	2	○	
		上記以外の解答	9	×	
		無解答	0	×	
(3)	22)	1と解答しているもの	1	×	
		2と解答しているもの	2	×	
		3と解答しているもの	3	○	
		4と解答しているもの	4	×	
		無解答	0	×	

問題番号	連番	解答類型	番号	正誤		
6	(1)	23)	1と解答しているもの	1	×	
			2と解答しているもの	2	○	
			3と解答しているもの	3	×	
			4と解答しているもの	4	×	
			無解答	0	×	
	(2)	24)	1と解答しているもの	1	×	
			2と解答しているもの	2	×	
			3と解答しているもの	3	○	
			4と解答しているもの	4	×	
			無解答	0	×	
	(3)	25)	岡山に強大な権力があつたことを示している。など、妥当性があれば正解とする。	1	○	
			上記以外の解答	9	×	
			無解答	0	×	
	7	(1)	26)	徳川家光(家光のみでも可)	1	○
				上記以外の解答	9	×
無解答				0	×	
(2)		27)	1と解答しているもの	1	×	
			2と解答しているもの	2	×	
			3と解答しているもの	3	×	
			4と解答しているもの	4	○	
			無解答	0	×	
(3)		28)	・江戸と領地間の移動や江戸での生活で費用を使わせ、藩が豊かにならないようにし、幕府に反抗する力をつけさせないようにするため。など、妥当性があれば正解とする。	1	○	
			上記以外の解答	9	×	
			無解答	0	×	
(4)		29)	キリスト教	1	○	
			上記以外の解答	9	×	
			無解答	0	×	

問題番号	連番	解答類型	番号	正誤	
8	(1)	30)	1と解答しているもの	1	×
			2と解答しているもの	2	○
			3と解答しているもの	3	×
			4と解答しているもの	4	×
			無解答	0	×
	(2)	31)	①を選択した場合 アジアではじめて、憲法にもとづいて政治を行う国になり、近代国家の仲間入りができた。など	1	○
			②を選択した場合 外国人が日本で罪を犯した場合には、日本人の裁判官により処罰できるようになったことで、欧米諸国と同等の権利を得た。など		
			③を選択した場合 輸入品に自由に税金をかける権利を日本がもつことができたことにより、諸外国との貿易において、平等な立場に立つことができた。など 妥当性があれば正解とする。		
		上記以外の解答	9	×	
		無解答	0	×	
	(3)	32)	1と解答しているもの	1	×
			2と解答しているもの	2	×
			3と解答しているもの	3	○
			4と解答しているもの	4	×
			無解答	0	×
9	(1) ①	33)	税金, 税	1	○
			上記以外の解答	9	×
			無解答	0	×
	(1) ②	34)	選挙, 投票	1	○
			上記以外の解答	9	×
			無解答	0	×
	(2)	35)	・国の施設 ・公民館, 図書館, 児童館, 市民体育館, 学校, 公園などの地方自治体の施設 ・自治体の施設で第三セクターが運営も可。妥当性があれば正解とする。	1	○
			上記以外の解答	9	×
			無解答	0	×

問題番号	連番	解答類型	番号	正誤
	(2)	36)とは別の解答で, ・国の施設 ・公民館, 図書館, 児童館, 市民体育館, 学校, 公園などの地方自治体の施設 ・自治体の施設で第三セクターが運営も可。妥当性があれば正解とする。	1	○
			9	×
			0	×
10	(1)	37) 1と解答しているもの	1	×
		2と解答しているもの	2	×
		3と解答しているもの	3	×
		4と解答しているもの	4	○
		無解答	0	×
	(2)	38) ・オリンピック, 国際競技会などのスポーツによる国際交流 ・海外での柔道や剣道等の伝統的武道の紹介, 外国の絵画や舞踊, 音楽などの日本での展覧会や公演など, 文化による国際交流など, 妥当性があれば正解とする。	1	○
	上記以外の解答	9	×	
	無解答	0	×	

社 会

問題番号		出題の内容	正答率 (*)	通過率 (**)	解答類型ごとの反応率(全県)									
大問	小問				1	2	3	4	5	6	7	8	9 (答) その他の誤	無回答
1	1	ア	73.4	73.4	73.4							26.1	0.5	
		イ	67.9	67.9	67.9							31.6	0.5	
		ウ	80.3	80.3	80.3							19.1	0.5	
	2		29.2	29.2	18.1	29.2	25.3	25.9					1.4	
	3		68.7	68.7	11.7	10.9	7.2	68.7					1.5	
2	1		45.9	45.9	21.0	22.0	45.9	9.6					1.5	
	2	1	89.1	89.1	89.1							7.9	3.0	
		2	80.7	80.7	80.7							9.2	10.1	
	3		25.0	25.0	25.0							32.6	42.3	
			26.5	26.5	26.5							24.5	49.1	
3	1		74.6	74.6	74.6	9.6	3.6	10.9					1.4	
	2		57.4	57.4	57.4						25.9	16.7		
	3		47.8	47.8	9.4	47.8	31.6	9.8				1.4		
4	1		71.9	71.9	71.9						21.1	7.0		
	2		71.1	71.1	71.1						19.7	9.2		
	3		88.1	88.1	3.1	4.6	2.5	88.1				1.6		
5	1		62.2	62.2	62.2						28.7	9.1		
	2	1	59.3	59.3	38.2	59.3						1.0	1.5	
		2	68.2	68.2	29.0	68.2						0.9	1.9	
		3	82.8	82.8	82.8	14.9						0.7	1.6	
		4	53.5	53.5	43.8	53.5						0.9	1.8	
	3		58.2	58.2	5.1	14.9	58.2	19.2				2.7		
6	1		42.3	42.3	20.7	42.3	22.6	13.4				1.0		
	2		75.9	75.9	4.1	10.3	75.9	8.4				1.3		
	3		45.6	45.6	45.6						34.8	19.6		
7	1		51.0	51.0	51.0						37.8	11.2		
	2		50.1	50.1	25.1	8.0	12.0	50.1				4.8		
	3		27.6	27.6	27.6						30.6	41.7		
	4		53.8	53.8	53.8						27.9	18.4		
8	1		70.1	70.1	3.1	70.1	14.3	9.1				3.4		
	2		20.2	20.2	20.2						35.6	44.2		
	3		67.0	67.0	14.7	4.8	67.0	5.3				8.1		
9	1	1	70.7	70.7	70.7						18.0	11.2		
		2	73.0	73.0	73.0						12.9	14.1		
	2		53.7	53.7	53.7						14.3	31.9		
			47.6	47.6	47.6						12.7	39.7		
10	1		31.6	31.6	15.0	29.0	15.9	31.6				8.5		
	2		58.9	58.9	58.9						11.4	29.7		